



### 子ども向け図書館ツアー

「こどもの読書週間」にあわせて、子どもたちが本や図書館に親しむきっかけになるよう、普段は入れない書庫などを案内する図書館ツアーを開催しました。当日は、北海道の「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」も来館し、子どもたちを迎えました（関連記事：p.2）。

### 目 次

に れ「図書館長になるために」	1
こどもの読書週間（4月23日～5月12日）関連事業	2～3
・ 北海道の「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」がお出迎え、『図書館の秘密を探るツアー』を開催	
・ 資料展「大型絵本100」	
・ 資料展「森へ！林へ！どうぶつえんへ！～歩こう 学ぼう 遊ぼう ほっかいどう探検～」	
事業報告	4～7
・ 「暮らしに役立つ図書館活用術」（平成25年度道民カレッジ連携講座）	
・ 北方資料室書庫ツアー「あなたもタイムトリップ 北方資料の世界」	
・ 平成25年度全道図書館新任職員研修会	
・ 平成25年度全道図書館中堅職員研修会	
新しい「北海道立図書館資料収集計画」を開始しました	8
掲示板	9～10

## 「図書館長になるために」

北海道立図書館長 阿 部 豊

図書館長に就任して間もなく、東京から一通の葉書が届いた。旧国立社会教育研修所（国社研）に勤務していた時に、社会教育の「いろは」を教わった「恩師」からである。「北海道立図書館長ご就任、おめでとうございます。」で始まり、短い文面に国立国会図書館の生い立ちなども書かれてある。最後に「市や県にいた小生の経験では、図書館長は管内最高の文化人です。山にも登る文化人として、楽しく活躍してください。」とあった。この「恩師」は、旧文部省の課長や国立工業高等専門学校校長、市や県での教育行政も経験された方である。

「山にも登る」は、私の趣味が登山であることをご存知の上でのことだ。ただ、前段の「管内最高の文化人」は、正直言って大きなプレッシャーである。到底、そんな人間にはなれないが、少しでも努力はしなければならぬと考えた。『中小レポート』の「館長の任務」の中には、なんと「読書や勉学を怠って人に読書をすすめることは、ナンセンスである。」とある。そこで、我が家の書棚に、どんな本がどれくらいあるのか、確かめてみようと思った。数日前に、かなりの数の本をブックオフへ持っていったばかりであったが、まず一番上の段から新書の冊数を数えてみた。集英社、生活人（NHK）、角川、新潮、岩波、中公、文春などの新書が、約230冊あった。1冊700円としても16万円と、すぐに計算もしてみた。若者の行動や規範意識、日本の言葉や流行歌、学力や家庭教育、靖国や尖閣の問題まで幅広い。そのほかに単行本、文庫本、自分の趣味である登山や高山植物に関するもの、共同で執筆した10冊ほど社会教育の本など、合わせて約500冊があった。

小説も読まなければと、トランクルームから、古い全集を引っ張り出してきた。高校時代に一度だけしか読んでいないので、傷んではないが活字が小さい。三島由紀夫、井上靖、安部公房、谷崎潤一郎、川端康成、有島武郎から松本清張などなど。再び読み返してみると、頭の中で描かれる登場人物の顔や声、服装や体格などは、当時と違ったものが浮かび上がってくる。あれから進学、就職、家族を持ち、何回も職場の異動があった。齢を重ねながらの様々な経験が、同じ活字を読んでも、異なるものを想像させるのだろうと勝手に考えている。

現代小説は、妻の読書量には全く及ばない。しかし、図書館の職員になったのだから、せめて、芥川賞、直木賞受作家の作品ぐらいいは読もうという気持ちにはなった。手元には、歴代の受賞者一覧があり、月曜日にはブックオフに出かけ、4・5冊買ってくる。「あらっ、これ。私、新刊ですぐに買ったよ。これ。これ。1600円。」と、妻が別の場所から本を持ってこられることも少なくともなかった。最近では、妻の読書傾向も把握し、何人かの作家の本は、自分では買わないことに決めた。子どもはすでに我が家を離れ、夫婦二人のブックシェアリング。今では、「読まなければ」の読書ではなく、心底「読みたい」読書になってきている。

# こどもの読書週間（4月23日～5月12日）関連事業

## ■ 北海道の「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」がお出迎え、『図書館の秘密を探るツアー』を開催

□期 日：5月3日（金） 14：00～15：30

□会 場：北海道立図書館 研修室、書庫ほか

子どもたちが本や図書館を身近に感じられるよう、「図書館の秘密を探る」と題して道立図書館内を巡る子ども向けツアーを開催し、保護者を含む38名が参加しました。

図書館の本の背に貼られたラベルの意味についての説明のあと、書庫や事務室など図書館の裏側の秘密に迫るツアーを開始。

館長室では、希望する子どもが館長の椅子に座って写真撮影したほか、事務室では、職員が市町村立図書館（室）への支援活動用のしかけ絵本を見せながら、道立図書館の役割について話しました。

書庫では、鳥瞰図や観光パンフレットなど北海道関係の資料（北方資料）を紹介しました。また、所蔵するうちで最も古い約350年前（江戸時代）の本を例に、資料を永久に保存していくことの大切さを理解してもらいました。

たくさんの本が書庫の電動式集密書架で保管されている様子に、参加した子どもからは、「自動で動く本棚がすごかった」と驚きの感想が寄せられました。

また、今回は、北海道の「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」が初めて来館。子どもたちは、大きな本の形をした「ぶっくん」の着ぐるみに驚きながらも、握手をしたり、一緒に写真を撮ったりして楽しくふれあっていました。  
(利用サービス課)



初めて入る書庫



これが鳥瞰図です



「ぶっくん」初来館

## ■特設展示「大型絵本100」

□期 日：4月23日（火）～5月12日（日）

□会 場：1階 研修室

大型絵本とは、読み聞かせに適した、通常の約4倍の大きさの絵本を指します。例えば、『はらぺこあおむし』（エリック・カール作絵）は、通常の22×31cm（縦×横）のサイズが42×58cm、『おまえうまそうだな』（宮西達也作絵）は、27×22cmが47×38cmのサイズになります。また、『100かいだてのいえ』（いわいとしお作）は、116×21cmの細長い大型絵本です。



これらを始めとする100点の大型絵本を研修室に敷いたカーペットにランダムに並べ、子どもたちが床に拵げて気軽に楽しめるような空間をつくり、展示しました。

期間中は、多くの親子が訪れ、その場で読み聞かせをするお母さんや、かかえきれない大きな絵本に目を輝かせる子どもの姿が見られました。

御覧になった方々から大きな反響が寄せられたことを受け、展示期間の終了後、当館のホームページに「大型絵本所蔵リスト」を掲載しました。

通常も貸出ししていますので、ご家庭でも大きな絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか。

（利用サービス課）

## ■資料展「森へ！林へ！どうぶつえんへ！

～歩こう・学ぼう・遊ぼう ほっかいどう探検～

□期 日：4月23日（火）～5月12日（日）

□会 場：中2階 北方資料展示コーナー

北海道に関わる資料を収集している北方資料室では、子どもの本も約2,700冊所蔵しています。

その中から、子どもたちにもっと北海道の動物や自然を知ってほしいと考え、『ヒグマの王国』や『あさひやま動物記』などの写真集や読み物をはじめ、『わくわく探検空知川』など森林や川の自然にふれるためのガイドブック、『アイヌとキツネ』など楽しく読める絵本を80冊展示しました。

（北方資料課）



## 事業報告

### ■ 暮らしに役立つ図書館活用術（平成25年度道民カレッジ連携講座 教養コース221）

□期 日：平成25年5月25日（土） 13:30～15:30

□会 場：1階研修室

この講座は毎年1回開催しているもので、今年度は、17名の参加をいただきました。

本講座は3部構成で行いました。

#### I 図書館では何ができるの？

道立図書館を含めた公共図書館ではどのようなサービスが行われているのかを説明しました。

#### II 図書館での本の探し方

道立図書館ホームページの蔵書検索を使って効率よく検索できるキーワードの入力方法や、書名キーワード以外の件名や内容といった検索項目を使った検索の方法を説明しました。

#### III 図書館での雑誌・新聞の探し方

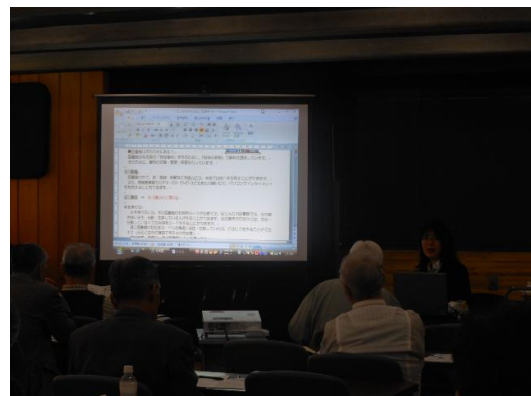
インターネット上の無料データベースを利用した雑誌記事の探し方や道立図書館が所蔵している新聞（原紙・縮刷版・マイクロフィルム）を実際に紹介しながら理解を深めました。

講座終了後に行ったアンケートはおおむね好評で、「図書館への敷居が低くなったと感じた。」との感想や、今回は一般資料に関する内容だったため、「北方資料室の利用についての講座があれば参加したい。」との要望などがありました。

（利用サービス課）



講義風景



スライドを使って説明



図書館資料を見ながら説明

## ■ 北方資料室書庫ツアー「あなたもタイムトリップ 北方資料の世界」

□期 日：6月8日（土） 14：00～15：00

□会 場：1階研修室～書庫等

この事業は、北海道、旧樺太、千島列島など、北方地域の資料を幅広く収集・保存している北方資料室を知っていただくための入門編として毎年開催しているもので、今年度は23名の参加がありました。

ツアーの開始に当たり、北方資料とは何か、どのように収集・整理しているか、また、北方資料室の主な業務の概略を説明しました。その後、第一書庫に移動し、北方資料を収蔵している2層から地層までをご案内しました。

2層では、実際に寄せられたレファレンスを例に挙げながら、地形図、殖民地区画図、鳥瞰図、絵葉書、レコード等の資料について説明し、図書資料や北越殖民社関係資料、河野常吉資料等の北方資料コレクションを、書架を巡りながら御案内しました。

続いて1層では、雑誌、パンフレット、市町村勢要覧、マイクロフィルム等の資料について説明した後、『週刊朝日 北海道版』等の貴重な雑誌や、北海道独自の遊びである「下の句カルタ」についてのパンフレット資料を紹介しました。

最後に地層では、新聞の原紙、電話帳、市町村広報等の資料や、梅木文庫、代田文庫等の北方資料コレクションについて説明し、書庫ツアーを終了しました。

アンケートでは、「普段入ることが出来ない書庫内を見られて良かった」「北方資料の概要を知ることが出来て良かった」「もう少し資料を見たかった」等の感想が多く寄せられました。

(北方資料課)



北方資料展示コーナーを解説



地図架から取り出したのは、明治時代の地形図



昔の新聞原紙や市町村広報等の資料も紹介

## ■ 平成25年全道図書館新任職員研修会

この研修会は、毎年道内の公立図書館、公民館図書室等に勤務して1年未満の職員を対象に、図書館活動に必要な基本理念の理解及び基礎知識の習得を図ることを目的に実施しています。

今年度は43名の参加があり、図書館や著作権に関する法令、カウンターでの対応、図書館間協力、資料収集、児童サービスの講義を設け、情報交換ではグループに分かれて「今、直面している課題～1年後の自分をイメージして」をテーマに話し合いを行いました。また、事後課題として研修を振り返るレポートを行いました。



情報交換

研修後のアンケートでは、「各講師の実体験に基づく説明を聞くことができてよかった」「参加同士の交流から他の図書館の様子がわかってよかった」との意見が多く寄せられました。

□期 日：6月6日（木）～7日（金）

□会 場：北海道立図書館研修室

□参加人数：43名

□日 程：

### 【1日目】

講義「図書館で働くということ」北海道立図書館利用サービス課長 宮本浩

講義「著作権法入門編」北海道立図書館北方資料課主査 工藤嘉一

講義「カウンターの仕事」由仁町ゆめつく館司書 池田聡美氏

### 【2日目】

講義・施設見学「道立図書館の利用と図書館の相互協力」

北海道立図書館利用サービス課企画主幹 一戸泰

北海道立図書館利用サービス課主任 西岡祐子

講義「資料収集」恵庭市立図書館主任主事 本間洋一氏

講義・演習「初めての児童サービス 児童サービスってなに!？」

ーもしあなたが担当になったら・・・

市立小樽図書館事務職員（司書） 海藤久仁子氏

情報交換

北海道立図書館資料課主査 中田こずえ

□事後課題（研修を振り返って）から

- ・ 仕事で試してみたいことや工夫してみたいことがたくさん増えた。
- ・ 全体を通して、資料収集の大切さや、利用者の方との関わり方の重要性を改めて考える機会になった。
- ・ 他図書館の実状や同じような疑問を持っていること、自分では気づかない対応方法などの情報交換ができて大変良かった。
- ・ 図書館職員としての知識はもちろん、人と繋がることの重要性を学んだ。
- ・ 司書として勤務する姿勢や、利用者に提供しているサービスを見つめ直し、図書館職員の在り方について今一度考える良い機会になった。

（企画支援課）

## ■ 平成25年全道図書館中堅職員研修会

この研修会は、道内の公立図書館、公民館図書室等に勤務して3年以上の職員を対象に、図書館運営・企画能力の向上、利用ニーズに対応できるスキルの習得を目的としています。

今年度は、昨年12月、11年ぶりに改定された「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（文部科学省告示。以下「望ましい基準」）における、「地域の課題に対応したサービス」に焦点をあてた内容で行いました。

また、例年事後アンケートで、「もっと情報交換する時間があっても良かった」という意見が多く寄せられるため、グループで行う演習を1日目と2日目の両方に取り入れ、参加者間で情報交換ができる日程にしました。

この結果、「他館の職員と交流の時間が多くて良かった」「(グループ演習では) 普段は1人では出せないアイデアが、どんどんふくらみ、やってみたいことが増えた。」などの感想が寄せられ、94.1%の方に「大いに役に立った」との回答をいただきました。

□期 日：7月11日(木)～12日(金)

□会 場：北海道立図書館研修室

□参加人数：17名

□日 程：

### 【1日目】

講義「暮らしに役立つレファレンス～明日から使えるツール～」

講師：北海道立図書館利用サービス課主査 原美代子

演習「わがまちの情報拠点になる1～わがまちの地域資料を紹介しよう！～」

講師：北海道立図書館北方資料課主査 工藤嘉一・小川靖子

### 【2日目】

講義「住民と共につくる図書館～“望ましい基準とは”～」

講師：帯広大谷短期大学専任講師 吉田真弓氏

事例紹介「これからの図書館に向かって」

講師：石狩市民図書館副館長 丹羽秀人氏

演習「わがまちの情報拠点になる2」

講師：北海道立図書館企画支援課長 吉原和夏子

□事後アンケートから

- ・ レファレンスに使える色々なウェブサイトを知ることができた。特に判例のサイトは最近困ったことがあったので、ぜひ使いたい。
- ・ 自分のまちの資料の確認になり、また、よその図書館にどのような地域資料があるか知ることができた。
- ・ 帯広市図書館、石狩市民図書館で実際に行っている事例をたくさん聞くことができ、とても良かった。
- ・ 日頃の業務の忙しさについておろそかにしてきたことを、改めて気づかされると同時に、気張らず、できることからやっていけばいいのだと思った。
- ・ もっと図書館職員が外に出る必要があると感じた。どうしても閉じがちになりやすいので、表にでる、PRすることを重要視していきたいと思う。

(企画支援課)



1日目 演習の様子



## 新しい「北海道立図書館資料収集計画」を開始しました

この春、更新した「北海道立図書館資料収集計画」（5か年計画）について紹介します。本計画は「北海道立図書館資料収集方針」に基づき策定するもので、今回の更新では「北海道立図書館事業推進計画」の施策目標を反映し、次の五つの分野を重点とします。

- (1) 課題解決型サービス・協力レファレンスに対応するための資料
- (2) 子どもの読書活動を推進するための資料
- (3) 図書館学関係資料
- (4) 障がい者サービス資料
- (5) 北方資料

特に(1)については、北海道の暮らしに関連し、市町村立図書館等や道民の関心の高い分野について、年度ごとにテーマを設定し重点的に充実を図ることとし、今年度については暮らしの支援（道民の生活と生命に関わる分野）に力を入れています。

一例として次のような本を収集し、この他にも衣食住や子育てなど、暮らしの疑問解決の助けになるような資料を選んでいきます。始めたばかりの取組ですが、来館による貸出しはもちろん、各市町村図書館を通じて道内各地でも早速利用されています。

### 【医療・健康に関すること】

- 『新しい認知症ケア 介護編』（三好春樹著 講談社 2012）  
『家族のための歯と口の健康百科』（伊藤公一編 医師薬出版 2013）  
『職場を襲う「新型うつ」』（NHK取材班編著 文藝春秋 2013）

### 【暮らしの法律に関すること】

- 『もめない相続トクする相続』（日本経済新聞社 2013）  
『子どもに会いたい親のためのハンドブック』（青木聡編著 社会評論社 2013）

### 【福祉に関すること】

- 『ケアメンを生きる 男性介護者100万人へのエール』（津止正敏著 クリエイツかもがわ 2013）  
『新しい発達と障害を考える本 1～4』（ミネルヴァ書房 2013） ※児童書

### 【防災に関すること】

- 『みんなで知っ得「助かる」「助ける」視覚障害者のための防災対策マニュアル』（日本盲人社会福祉施設協議会 2012）  
『絶対に知っておきたい！地震・火災保険と災害時のお金』（さくら事務所著 自由国民社 2013）

今後、26年度は仕事の支援、27年度は地域の活性化支援と、身近なことから地域課題まで、道民の現在と未来に役立つ資料の充実を段階的にすすめ、北海道全体の図書館サービスの向上を資料面からも支えていく蔵書構成を目指します。

なお、計画全文については、当館ホームページに掲載しています。

URL：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/about/qulnh000000001e1.html>

(資料課)

## 掲示板

### <トピック>

#### ■コープさっぽろから市町村図書館に絵本の進呈

生活協同組合コープさっぽろから、道内179市町村に向けて絵本1,200冊が寄贈されることになり、7月31日に道立図書館で贈呈式が行われました。当日はコープさっぽろのイメージキャラクター「トドック」と北海道の「朝読・家読運動」のイメージキャラクター「ぶっくん」も登場し、コープさっぽろ常務理事の中島則裕氏から阿部豊館長に目録が手渡されました。



阿部館長は「責任をもって預かり、各市町村の読書活動に生かしてまいりたい」と述べ、今後2年間にわたり、6種類の絵本が道立図書館を経由して、全道の図書館（室）に配本されることになりました。第1回目の寄贈絵本『でんしゃにのって』（とよたかずひこ作・絵 アリス館）は、8月に各市町村図書館に送付しました。

### <北海道立図書館協議会委員>

今年度の委員を紹介します。任期は平成26年10月31日までです。

氏名	適用区分	氏名	適用区分
浦田 日出雄	学校教育関係者	橋本 幸子	家庭教育関係者
矢野 誠	〃	木村 純	学識経験者
松永 伊知子	社会教育関係者	下田 尊久	〃
小坂 直人	〃	赤坂 和恵	〃
菅原 裕一	〃	金田一 美保	〃

5月29日付けで辞任した吉田真弓委員・神野光男委員の後任として、5月30日付けで松永伊知子委員・菅原裕一委員が就任しました。

### <職員人事異動>

退職 平成25年3月31日付け

副館長 石堂 普之  
北方資料室長 鈴木 浩一  
管理課主任 中山 博重

参与 佐藤 淳司  
資料課長 佐藤 良雄  
管理課主任 柴田 茂

転出 平成25年4月1日付け  
 館長 岸 豊 (教育研究所所長へ)  
 管理課主任 國崎 真希 (特別支援教育課主任へ)  
 転入 平成25年4月1日付け  
 館長 阿部 豊 (生涯学習推進局長から)  
 副館長 松山 拓男 (檜山教育局長から)  
 管理課主事 高山 奈々 (檜山教育局から)  
 新採用 平成24年10月1日付け  
 資料課司書 南部 歩美  
 再任用 平成25年4月1日付け  
 管理課主任 小山 晋  
 管理課主任 川端 道隆  
 資料課主任 佐藤 良雄  
 北方資料課主任 鈴木 浩一  
 館内異動(昇任を含む) 平成25年4月1日付け  
 企画支援課長 吉原 和夏子 (企画支援課企画主幹(子ども読書)から)  
 企画主幹(子ども読書) 桑原 裕子 (利用サービス課主査から)  
 企画支援課主査 伊藤 嘉奈子 (企画支援課主任から)  
 企画支援課主任 大塚 寿信 (利用サービス課主任から)  
 利用サービス課長 宮本 浩 (企画支援課長から)  
 企画主幹(レファレンス) 一戸 泰 (北方資料課主査から)  
 利用サービス課主査 須之内 美智代 (北方資料課主査から)  
 利用サービス課主任 西岡 祐子 (資料課主任から)  
 利用サービス課主任 阿部 かおり (北方資料課主任から)  
 資料課長 丸子 裕 (北方資料課長から)  
 北方資料室長 日暮 文行 (利用サービス課長から)  
 北方資料課長 加藤 ひろみ (利用サービス課企画主幹(レファレンス)から)  
 北方資料課主査 工藤 嘉一 (企画支援課主査から)  
 北方資料課主査 小川 靖子 (北方資料課主任から)  
 北方資料課主任 今野 徹 (利用サービス課主任から)

**北海道立図書館報 第195号**

平成25年9月18日発行

北海道立図書館長 阿部 豊

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL:011-386-8521 (代表)

ダイヤルイン 386-8531 (総務企画部)

386-8522 (利用サービス部)

386-8523 (北方資料室)

FAX:011-386-6906 (利用サービス部)

388-2063 (総務企画部)

E-mail:gyoumu@library.pref.hokkaido.jp

HP:http://www.library.pref.hokkaido.jp